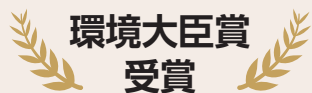


小泉進次郎環境大臣、笹川博義環境副大臣が、第6回全国ユース環境活動発表大会全国大会で環境大臣賞を受賞した宮城県農業高等学校のメンバーにメッセージを贈り、環境の課題や未来について懇談をしました。リモートでの開催でしたが、大臣、副大臣からは温かいお祝いのメッセージをもらい、とても活発な懇談が行われました。



宮城県農業高等学校 科学部チームsmiles

サクラの新品種開発で桜の緑被率を上げる
～被災農業高校が立ち向かう震災10年目の挑戦！～



小泉進次郎環境大臣 お祝いメッセージ

▶ メッセージ、懇談の記事は抜粋です。懇談会の内容は、動画で閲覧できます。詳しくは、裏表紙をご覧ください。



宮城県農業高校のみなさん、おめでとうございます。
気候変動対策をリードする環境大臣としては、「桜」でCO₂を吸収する取り組みでの受賞を心から嬉しく思います。東日本大震災から10年を迎える今年、復興のシンボルとしても日本人にとって大切な花である「桜」での取り組みはとても意義深いものだと感じています。「桜」がCO₂を吸収する気候変動対策のシンボルになる、そのスタートが今日からだとしたら、こんなに記念すべき日はないでしょう。これからもずっと見守っていきます。今日は本当におめでとうございます。

小泉環境大臣 → 宮城県農業高校

質問&回答

宮城県農業高校 → 小泉環境大臣

小泉
環境大臣

なぜ、桜とCO₂削減という発想が繋がったのか？
これ、聞きたいですね。

宮城県
農業高校

もともと私たちは、校庭に残った奇跡の桜で地域の方の笑顔や緑化のために活動していたのですが、最初は心理的な面と桜の物理的な面での復興を目指していました。活動していくうちに、植物の基本的な二酸化炭素を吸って酸素を排出するっていう部分に着目した時に、私たちの活動でそれをもっと加速、手助けができるのではないかとということで桜とCO₂削減が繋がりました。

宮城県
農業高校

私たちは、桜で人々の笑顔を広めていきたいと考えているのですが、活動の中で大臣は何を大切にしたらいいと思いますか？何かアドバイスがあればお願いします。

小泉
環境大臣

みんな自身が、このプロジェクトに心の底から楽しみを見つけることが大事なんじゃないかな。自分自身が、これはやりたい。これは楽しい。そういう風に思える事であれば、自然とやる気になるでしょう。「楽しい」と思ってやるのが一番大事だと思います。

笹川博義環境副大臣 お祝いメッセージ

▶ メッセージ、懇談の記事は抜粋です。懇談会の内容は、動画で閲覧できます。詳しくは、裏表紙をご覧ください。



環境大臣賞の受賞、本当におめでとうございます。
みなさんが、桜の品種の開発と防災林の植樹に取り組んでいただいたということで、環境にも優しく、地域の方も大変喜んでおられる。そしてその植樹した桜の花が大輪となる。ものすごく夢と希望を与える活動だと思います。また、部活動で大事なことは、前に進もうという勇気を持つことと、最初の一步を記したという想い、行動力です。ぜひこれからも最初に思った気持ちを忘れずに頑張ってください。今日は、キラキラした、やる気に溢れるみなさんに接することができ、心から感謝を申し上げたいと思います。

笹川環境副大臣 → 宮城県農業高校

質問&回答

宮城県農業高校 → 笹川環境副大臣

笹川環境
副大臣

玉夢桜は、ネーミングがしっかりしていますね、これみんなで考えたの？
塩害を調べると、地区によって違うと思います。いろいろな工夫や養生があったのでしょうか？

宮城県
農業高校

玉夢桜は、玉浦西地区の地域の方々と話し合っってその名前を決めました。活動は、土壌調査をしながら、例えば石巻だったら海が近いので潮風などの影響があって、その影響を踏まえて土壌の硬度や透水性、組成など、私たちが一から調べてどうしたらいいのかを考えました。

宮城県
農業高校

今、SDGsで17項目ありますが、今後追加されるとしたらどのようなものが追加されると考えられますか？

笹川環境
副大臣

この17というのは、国際的な会議の場で、本当に多岐にわたって議論を積み重ねて設定されていると思います。ですから、追加よりも、まずはこの17の目標をどう達成するかということ、中間の検証も含めて取り組むことが、世界的に見ても大切なことだと思います。また、考えること自体も大事です。みなさんなら、何を追加したら良いと考えますか？これってという提案が出たら教えてください。